

を問う



総合福祉課福祉支援室



野坂 明典

新しい介護保険料は

基準額を四千三百五十円とする

野坂 連合の地域包括支援センター及び支部の人は決まったか。職員の人件費は介護保険内で賄われることになっているが、支部職員も同様か。

町長 連合に保健師他三名を出向させ、支部の業務は総合福祉課総合生活

相談室において行い、人件費はすべて本町の一般財源で支弁する。

野坂 本部と支部の業務関係はどうなるのか。

野坂 本町独自事業で実施することになる今後介護保険に移行される恐れのある方の選定は。

町長 特定高齢者の候補は基本健康診査で生活機能評価のチェックを実施する。また、現在予防関連事業を利用されている方達については主治医と連携して個別に把握していく。

農業の担い手対策

野坂 農業の担い手とはどう捉えているか。

町長 認定農業者を始め意欲を持って農業に取り組もうとされている方も広く捉える必要がある。

野坂 認定農業者は数年前からあまり増加しないがなぜか。

町長 僅かであるが増えつつあるが、地域の担い手として重要な一員であるので今後もより一層の啓発普及に努める。

野坂 各種助成のある集落の法人化の対応は。

町長 集落営農の組織化の機運が始まっている。集落の合意形成を図る必要があり、説明会を実施するなど推進を図っていく。

町民の体力向上策

野坂 成人の体力は幼年期・少年期に基礎が固まると思うし、青年期の体力が、高・老年期になったときの体力に及ぼす影響は大きいと思うが、町民の体力向上策は。

勝部教育委員長 県が行った児童・生徒の体力テストの結果からも食事・積極的な身体運動が健康や体力の増進に大きく寄与している。

町では各種スポーツ活動、野外活動などのメニューを用意して町民の体力向上に努めている。

スポーツへの参加は、体を鍛え、礼を知り、友と協力する心を養うことが期待され、個人の完成のみならず、世の中のためにも必要であり、生涯の基礎となるものと信じている。

野坂 介護予防に使われる地域支援事業費は総額の2〜3%とされているが伯耆町にどれほど配分されるか。

町長 0.9%にあたる千三百四十万円のうち伯耆町には

野坂 センター運営協議会委員の選定はどのようになされたか。

町長 基準額は月額四千三百五十円とした。